

# ちいきのわだい

仙北市のできごとをおとどけ

9月24日  
角館高校

## 角館高校でボランティア事業「地域との交流会」 高齢者など招待し、歌や郷土芸能、演奏を披露

9月24日、角館高校（青柳徹校長）でボランティア行事「地域との交流会」が、社会福祉協議会の協力を得て、町内の一人暮らしの高齢者や寿楽荘の入所者の皆さんを招待して、開催されました。この交流会は、角館南高校が毎年行ってきた行事を、統合後も角館高校が引き継ぎ行われました。



今回は77人の方が会場を訪れ、郷土芸能や演奏など多彩なプログラムで交流を深めました。

生徒による吹奏楽の演奏や郷土芸能の歌や踊りなどを発表したほか、今回

は同校定時制、大曲養護学校高等部、せんぼく分教室の生徒も参加し、太鼓演奏やダンス、お囃子を披露しました。招待された皆さんの隣には生徒がそれぞれ座り、一緒に歌に合わせて手拍子するなど、しみながら交流を深めました。



隣に座り招待者をもてなした生徒は「いろいろ話しかけてくれて、緊張せず楽しく交流できました」と感想を話しました。

9月24日・10月1日  
仙北市

## 白寿のお祝い おめでとうございます



9月24日、菅原千司郎さんが白寿を迎えました。菅原さんには仙北市育英奨学基金事業へご寄付を頂きました。ありがとうございました。



10月1日、中島絹さんが白寿を迎えました。

このたび白寿を迎えられた方々に、市からお祝いと花束が贈呈されました。

9月17日  
仙北市民会館

## 愛・クニマス 音楽と語りで綴る叙事詩 クニマスを語りと音楽で表現

9月17日、仙北市民会館で「愛・クニマス 音楽と語りで綴る叙事詩」が夢・たざわこ制作実行委員会の主催で開催されました。

第一部は小澤昔ばなし研究所長小澤俊夫氏と語り部の皆さんが各地の民話を方言を交えて紹介しました。第二部では仙台フィルハーモニー管弦楽団と地元アーティスト、市内中学校吹奏楽部の皆さんが、力を合わせてクニマスの物語をすばらしいコンサートに作り上げました。その見事な歌声と演奏に大きな拍手が送られました。



奇跡の復活を果たしたクニマスの物語。歌と演奏で表現されたコンサートを満員の観客が楽しみました。

9月22日・23日  
仙北市民会館

## 第29回生保内節全国大会 栄冠目指し、鍛えたのど競う

9月22日・23日の両日に渡り第29回生保内節全国大会が仙北市民会館で行われました。

150人がエントリーした一般の部では、22日の予選を通過した40人が、23日の準決勝に進出。そこから選ばれた10人が決勝へ臨みました。日本一に輝いたのは富岡久美子さん（大仙市）。また、26人がエントリーした年少の部最優秀賞には、吉田友音さん（西明寺）が選ばれました。

他の入賞者は次のとおり。

〔敬称略〕

- 〔一般の部〕  
▽優秀賞Ⅱ 浜口優花（大仙市）、成田義道（鹿角市）、佐藤まゆみ（大館市）、高橋惇（由利本荘市）  
▽敢闘賞Ⅱ 地主和希（田沢湖）、小松博美（田沢湖）、古谷明子（大仙市）、佐藤慶悦（北秋田市）、田村和子（田沢湖）
- 〔年少の部〕  
▽優秀賞Ⅱ 澤木美晴（男鹿市）、羽根川莉奈（田沢湖）、谷川未采（八郎潟町）



年少の部で最優秀賞となった吉田友音さん。



栄えある日本一に輝いた富岡久美子さん。

9月27日  
秋田内陸線角館駅

## 秋田内陸線ラッピング車両運行セレモニー 多くの乗客を乗せ、運行開始



「季節を旅する 大地が響く」をコンセプトにデザインされたアートラッピング。角館の四季や鷹巣の太鼓が描かれています。角館高校2年美術コースの皆さんの力作です。

9月27日、秋田内陸線角館駅でラッピング車両運行セレモニーが開催されました。このアートラッピングは仙北市国民文化祭、内陸線アート事業の一環として行われたもので、デザインを手がけた角館高校2年美術コースの生徒を代表し、橋本美佐子さんが「デザインを考

えている間は実感が湧かなかつたが、完成した車両を実際に見てびっくりした。ラッピング車両を通じて秋田内陸線の利用客が増えたいと願っています」とあいさつしました。セレモニー終了後は運行開始を待ち望んだ多くの乗客が訪れ、角館駅を出発しました。ラッピング車両は国民文化祭の期間中、角館〜鷹巣間を毎日運行します。

9月5日  
仙北市

## SAKURAKURA フトコンペ 受賞作品決定

山桜の樹皮を使用した製品のデザインコンペ「SAKURAKURA フトコンペ」（角館工芸協同組合主催）の受賞作品がこの度決定しました。

全国各地から応募のあった31作品について、厳正な審査を行った結果、次のとおり最優秀賞1作品と優秀賞1作品、準優秀賞1作品を選定しました。

賞	作品名	氏名
最優秀賞	SPセット	田中晴樹
優秀賞	音木 -otogi-	荻山夏文
準優秀賞	Tsuki Bako (月箱)	平瀬尋士

応募された全てのデザイン画は、10月19日（日）～26日（日）開催の「第42回角館町榊細工伝統工芸展」（角館町榊細工伝承館）で展示されます。ぜひご覧ください。

問合せ／  
商工課 ☎(43)3351

9月28日  
仙北市～北秋田市

## 1600人のランナーが体力の限界にチャレンジ 第24回100キロチャレンジジマラン

9月28日、100キロチャレンジジマランが行われました。100キロの部には全国から約1200人がエントリーし、角館交流センター前を午前4時30分に、また、約400人がエントリーした50キロの部は、秋田内陸線比立内駅前を10時30分にスタートし、北秋田市鷹巣のゴールを目指しました。



100キロ先のゴールを目指して一斉スタート。

9月28日  
秋田市

## 秋田25市町村対抗伝ふるさとあきたラン！ 特設コースで熱戦展開

9月28日、秋田市八橋運動公園をメイン会場に秋田市内の特設コースを走る、第1回「秋田25市町村対抗伝ふるさとあきたラン！」が開催されました。県内全市町村が一堂に会い、競い合われた今大会。市町村の代表選手による白熱したレースが展開されました。仙北市選抜チームは、市の部門で第10位の成績を収めました。みなさんの応援ありがとうございました。



チーム一丸となりたすきを繋げた、仙北市チームの記録は1時間59分27秒。

## まちづくり日記

No.72

### 『国家戦略特区に名乗りを上げて②』

仙北市長  
門脇 光浩

前号に続き、仙北市が国家戦略特区に申請した2つめのテーマ「食のトータルプランの推進」について、その概要をお知らせします。

#### ①農業生産法人の要件緩和

農業生産法人の出資額の要件は、新規に農業者が法人に参画するハードルが高い状況です。現法では民間と農家の出資比率はそれぞれ半額で、これだと例えば資本金1000万円の法人では農業者も500万円を出資しなければいけません。この出資枠を撤廃し、出資については構成員の自由裁量として欲しいことを要望しています。また農産物販売所、農家レストラン等の事業の上げの対象となる農業用施設は、農業者自身が生産する農産物を量的・金額的に5割以上使用しなければいけないとする規制があります。これではミニニュークも地域への貢献も困難です。これを同一市町村の他の農業者が生産する農産物も含めて5割の対象として欲しいことを提案しています。

#### ②国有林の民間開放

国有林事業に民間が参画できる場面

は、伐採・造林・林道開設や改良などに留まっています。これを民間に開放（もっとも「国有林を国民が日常的に活用できる管理システム導入など」、例えば人気が高い生保内タケノコや、市内各地の山菜事業を促進したり、野外レクリエーション、癒しの森と林間レストランなどを実現できないか、そんな提案です。木材生産にとどまらない、林産食材の振興など、幅広い産業分野が国有林をステージに活発化することを狙っています。

#### ③保健機能食品の表示と販売

例えば、既に成分分析を終えているアケビ油の商品化や販売では、現法ではさらに国が関係する委員会、また各独立行政法人での分析が必要になっています。仙北市では薬草も成分その機能明らかになっている多くの植生があります。改めて作業が必要になってきます。一生懸命に所得アップ策・6次産業化策を進めても、多くの規制でスピードが減速する現状を、何とか改善したいと考えています。

9月29日  
せんぼく分教室

## 大曲養護学校せんぼく分教室 みんなで楽しむふれあいライブ



AKITA smile-faceの演奏に児童生徒も手拍子を送り、会場が盛り上がりました。

9月29日、大曲養護学校せんぼく分教室でふれあいライブが開催され、国民文化祭・あきた2014のテーマソングを歌うAKITA Smile-faceの皆さんが、国民文化祭・あきた2014のテーマソング「僕たちの未来」や分教室の歌「たんぽぽ」などを演奏。また、せんぼく分教室の児童生徒の皆さんも練習を重ねたダンスを披露しました。ライブ終了後にはメンバーの皆さんへ、お礼のプレゼントを送り、全員で記念撮影。参加した約80人の皆さんが楽しい時間を過ごしました。

10月4日～11月3日  
仙北市

## 佐竹北家の殿さま弁当「栗まんま」 さらにおいしく好評発売中

仙北市商工会では、昨年大変好評を得た「佐竹北家の栗まんま（殿さま弁当・姫さま弁当）」を、「第29回国民文化祭・あきた2014」に向けさらに改良し、2種類のお弁当の魅力を一つに合わせた、佐竹北家の殿さま弁当「栗まんま」を発売しています。期間中の土日祝祭日に秋田内陸線（☎0186・82・3666）で販売されるほか、各種イベント「仙北市産業祭」「秋の味覚市」等での販売も予定しています。



1個1,200円（税込）で、製造・販売は㈱花葉館、㈱アルクの2社。弁当の予約・問合せ等は角館温泉花葉館（☎55-5888）で受け付けています。

11/15(土)

### 入場無料

## 『藤田ゆうみんさんと考える、 ちょっと先の仙北市』

県内を拠点に、ラジオパーソナリティや歌手として活躍する藤田ゆうみんさん。今年5月にママになったばかりのゆうみんさんと、子育てやワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について考えてみませんか。

他にも市民をパネリストに迎えての『パネルディスカッション』、手作りスイーツ販売などの『チャレンジマーケット』、女性消防団紹介コーナーなどを予定しています。

託児サービス（無料・事前予約制）もありますので、小さなお子様のいる方も、ぜひご家族でおいでください。



### 会場 角館交流センター

※お車でお越しの方は、会場内駐車場が手狭なため、隣の健康管理センター駐車場もご利用になれます。

### トークショー・パネルディスカッション 13:30～15:00

▶トークショー：藤田ゆうみんさん ▶パネルディスカッション：赤上マツさん、浅野慎太郎さん、村岡歩さん、安藤雄介さん（進行役：藤田ゆうみんさん）

### チャレンジマーケット 12:30～15:30 ※トークショー等の開催中は販売を中断します。

出店予定：手作りスイーツ、パン、漬物、ネイルケア、手作り雑貨 など

- 託児/無料ですが、準備の都合上10月31日(金)までにお申し込みください。なお当日は、飲み物、おやつ、おむつ、着替えなどは、各自でご持参ください。（託児依頼先：はっぴい・ママ）
- 託児申込・問合せ/仙北市企画政策課（田沢湖庁舎） ☎43-1112 FAX43-1300

第29回国民文化祭・あきた2014のテーマソング「僕たちの未来」のボーカルを務める藤田ゆうみんさん